

イ 総 務

事業名		応急仮設住宅借上事業		会計		O1 一般会計		予算区分		政策	
政 策		O4	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）		予算科目		款	O2 総務費			
施 策		4-3	誰もが安心して暮らすことのできる生活支援づくり		目		項	O1 総務管理費			
						目		O1 一般管理費			
主管課		都市計画部 建築住宅課		主管課長		武田 淳		事業コード		18 — 51	
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）							
	東日本大震災の被災者			応急仮設住宅への入居を支援する。							
事業内容	東日本大震災により、流山市へ避難されている被災者に対し、千葉県からの要請により災害救助法に基づく応急仮設住宅（民間賃貸住宅）を無償で貸与（市・貸主・入居者の三者による定期借家契約）し、支援を行っている。										
事業の実績	民間賃貸住宅借上げ		27	世帯	決算額	事業費計		29,777,742 円			
						財源内訳	国庫支出金		0 円		
							県支出金		22,197,346 円		
							分担金・負担金		0 円		
							使用料・手数料		0 円		
							基金繰入金		0 円		
							地方債		0 円		
							その他特定財源		7,580,396 円		
						一般財源		0 円			
指標で表すことができない定性的な成果		被災者が安心して暮らすことができる。		繰越・継続費の状況	繰越の有無		無		継続費の設定		無

事業名		職員研修事業		会計	O1	一般会計		予算区分	経常
政 策	O6	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		予算科目	款	O2	総務費		
施 策	6-2	健全で効率的な行財政運営			項	O1	総務管理費		
				目	O2	人事管理費			
主管課	総務部 人材育成課			主管課長	渡辺 雅史		事業コード	O2	— O1
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	全職員			自治基本条例に基づく役割を実践し、総合計画後期基本計画の実現を担う職員となる。					
事業内容	目指す職員を育成するために、人材育成基本方針に基づき継続的なスキルアップが必要である。研修制度の充実などにより、それぞれの職務や成長段階において適切な育成を推進する。								
事業の実績	職員数	1,020	人	決算額	財源内訳	事業費計	17,103,571 円		
	職員自主研修助成者数	59	人			国庫支出金	0 円		
						県支出金	0 円		
						分担金・負担金	0 円		
						使用料・手数料	0 円		
	集合研修実施件数	29	件			基金繰入金	0 円		
	派遣研修派遣職員数	55	人			地方債	0 円		
						その他特定財源	562,379 円		
一般財源	16,541,192 円								
指標で表すことができない定性的な成果	各所属で必要な業務能力の他、接遇などの技術向上を図り人材育成基本方針に定める4C職員の育成に寄与した。			繰越の有無	無	継続費の設定		無	
繰越・継続費の状況									



流山市の歴史について説明を受ける新規採用職員

事業名	見やすく分かりやすいホームページ運営事業			会計	O1 一般会計		予算区分	政策
政 策	O6	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			予 算 科 目	款 項 目	O2 総務費	
施 策	6-1	市民参加の地域社会づくり					O1 総務管理費	
							O4 広報費	
主管課	総合政策部 秘書広報課			主管課長	飯塚 修司		事業コード	O1 — 51
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	市民、市外の方、企業			市民生活に必要な情報を迅速に提供すると共に、市外在住者や民間企業に流山市の情報や魅力を発信する。				
事業内容	CMS（コンテンツマネジメントシステム）を導入したホームページリニューアル後の運営業務。対象者に対する情報提供を「見やすく」「探しやすい」ものにし、その日々の運営を行う。見やすく分かりやすいホームページを提供することで、流山市民はもとより、市外の方や企業の方に、流山市の魅力や各種情報をタイムリーに発信する。							
事業の実績	ページビュー数(月平均)		725,898	件	決算額	事業費計		6,422,400 円
	ページ内容が役に立ったと答えた人の割合		68.4	%		財源内訳	国庫支出金	0 円
	ページ内容がわかりやすかったと答えた人の割合		62.4	%			県支出金	0 円
	ページを見つけやすいと答えた人の割合		62.1	%			分担金・負担金	0 円
							使用料・手数料	0 円
							基金繰入金	0 円
							地方債	0 円
					その他特定財源	3,220,000 円		
						一般財源	3,202,400 円	
指標で表すことができない定性的な成果	CMS（コンテンツマネジメントシステム）の導入により、情報分類、アクセシビリティなどが向上した。			繰越・継続費の状況	繰越の有無			
						無	継続費の設定	無

事業名	ファシリティマネジメント推進事業			会計	O1 一般会計		予算区分	政策
政 策	O6	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			予 算 科 目	款 項 目	O2 総務費	
施 策	6-2	健全で効率的な行政運営					O1 総務管理費	
							O7 財産管理費	
主管課	総務部 財産活用課			主管課長	伊藤 龍史		事業コード	O1 — 78
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	流山市のファシリティ（保有・賃借する土地・建物）全般			流山市の保有するファシリティを戦略的に活用することで自治体経営に貢献させる。				
事業内容	ファシリティマネジメントを推進するにあたり、2つのPPP（Public Private Partnership：官民連携/Public Public Partnership：自治体間連携）を活用し、公共施設保全計画を基礎データとして、事業者提案制度・ESCO・包括施設管理業務委託・有料広告等の各種FM施策を実施したことにより、財務・品質・供給の適正化を図った。							
事業の実績	FM施策の実施件数		36	件	決算額	事業費計		17,373,533 円
						財源内訳	国庫支出金	7,241,840 円
							県支出金	0 円
							分担金・負担金	0 円
							使用料・手数料	0 円
							基金繰入金	0 円
							地方債	0 円
					その他特定財源	0 円		
					一般財源	10,131,693 円		
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況		繰越の有無		無	継続費の設定	無

事業名	平和施策事業			会計	01	一般会計		予算区分	政策
政 策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）			予算科目	款	02	総務費	
施 策	3-6	国際社会への対応			目	項	01	総務管理費	
						目	08	企画費	
主管課	総合政策部 企画政策課			主管課長	田中 佳二		事業コード	03	— 51
事業目的	対象（誰を・何を）				意図（どういう状態にしたいのか）				
	市民				平和施策事業の実施により、平和の尊さ・大切さについて認識できるようにする。				
事業内容	市民から寄せられた折鶴を千羽鶴に束ね、平和大使に任命された、公募の小学5・6年生が広島平和記念公園に献納した。また、平和記念式典への参列や広島平和記念資料館の見学などを行った。 平和ポスター展の開催や、日本ユニセフ協会の協力を得て市内の小中学校において「平和教室」を開催するなど、平和の大切さ・尊さについて考え、学ぶ機会を提供する。								
事業の実績	千羽鶴作成のボランティア参加人数		385	人	決算額	事業費計		777,279 円	
	市民から寄せられた折鶴数		220,000	羽		財源内訳	国庫支出金		0 円
							県支出金		0 円
							分担金・負担金		0 円
							使用料・手数料		0 円
							基金繰入金		0 円
							地方債		0 円
							その他特定財源		0 円
				一般財源	777,279 円				
指標で表すことができない定性的な成果	平和大使の活動を通じ、次世代を担う子どもたちの平和に対する意識を高めることができる。			繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定	無



広島平和記念公園に千羽鶴を献納

事業名	男女共同参画社会づくり事業			会計	O1 一般会計		予算区分	政策
政 策	O6	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			予 算 科 目	款 項 目	O2 総務費 O1 総務管理費 O8 企画費	
施 策	6-4 男女共同参画社会づくり							
主管課	総合政策部 企画政策課			主管課長	田中 佳二		事業コード	07 — 53
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	市民（市内在住・在勤・在学者）			男女が、互いにその人権を尊重しつつ性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮する。				
事業内容	「男女が互いにその人権を尊重しつつ、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会」の形成に向け、第2次男女共同参画プランに基づき講座や研修会の開催を行うとともに、男女共同審議会においても男女共同参画社会の形成に向け審議を行う。							
事業の実績	男女が平等に扱われていると思う市民の割合	22.5	%	決算額	財源内訳	事業費計		2,203,429 円
	「男は仕事女は家事育児」という固定的な見方 審議会等への女性の登用率 家事参画を十分に行っていると回答している男性の割合	11.1 32.2 20.9	% % %			国庫支出金	0 円	
						県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	0 円	
						その他特定財源	0 円	
一般財源	2,203,429 円							
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定		無	



子育て中の女性のエンパワーメントを図る講座の様子

事業名	第3次男女共同参画プラン策定事業			会計	O1	一般会計		予算区分	政策
政 策	O6	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			予算科目	款	O2 総務費		
施 策	6-4	男女共同参画社会づくり				項	O1 総務管理費		
					目	O8 企画費			
主管課	総合政策部 企画政策課			主管課長	田中 佳二		事業コード	O7 — 54	
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	施策事業担当職員 市民（市内在住・在勤・在学者）			男女の人権が尊重され、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮する。					
事業内容	男女共同参画社会の形成の促進に関する施策についての計画（プラン）を策定する。								
事業の実績	男女共同参画推進本部会議		2	回	決算額	財源内訳	事業費計		104,776 円
							国庫支出金	0 円	
	プラン策定記念講演会参加人数		40	人			県支出金	0 円	
							分担金・負担金	0 円	
							使用料・手数料	0 円	
							基金繰入金	0 円	
							地方債	0 円	
							その他特定財源	0 円	
					一般財源	104,776 円			
指標で表すことができない定性的な成果	基本理念に「男女がともに人権を尊重し、個性と能力を十分に発揮できる流山をめざして」を掲げ第3次プランを策定した。			繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定	無



第3次プラン策定記念講演会の様子

事業名	市のイメージ向上と企業・住民誘致の推進事業			会計	O1 一般会計		予算区分	政策	
政 策	O5	5 節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	予 算	款	O2 総務費			
				科	項	O1 総務管理費			
施 策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化		目	目	O9 マーケティング活動費			
主管課	総合政策部 マーケティング課			主管課長		阿曾 義浩		事業コード	O1 — 51
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	首都圏の住民(将来の市民)			流山市を広く認知し、よい街のイメージを持ってもらう。また多くの方に流山市を訪れてもらい、さらに移り住んでもらう。					
事業内容	都心からの交通アクセスの良さと、良質な住環境を兼ね備えた市の魅力を発信し、首都圏の住民及び企業に広く流山市を知っていただくとともに、流山への情報アクセスを高め、交流人口を拡大するための仕組みをつくる。そして最終的には住民誘致へと結びつけ定住人口の増加を目指す。								
事業の実績	イベント集客集		130,150	人	決算額	事業費計		22,987,849 円	
	人口増加数	3,063	人	財源内訳		国庫支出金	0 円		
						県支出金	0 円		
						分担金・負担金	0 円		
						使用料・手数料	0 円		
						基金繰入金	0 円		
						地方債	0 円		
						その他特定財源	0 円		
イベントにおける市外来場者比率	42.5	%	一般財源	22,987,849 円					
指標で表すことができない定性的な成果	話題性のある広告やイベントにより市のイメージを広くアピールすることができた。FC支援作品と連動した市プロモーションを展開し大きな反響を呼んだ。			繰越の有無		有	継続費の設定		無
	繰越・継続費の状況			翌年度への明許繰越額22,651,000円（地方創生先行型事業）					



首都圏駅PR広告の掲出(千代田線表参道駅)

事業名	企業立地促進事業			会計	O1	一般会計	予算区分	政策	
政 策	O5	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	5-2	工業の強化と新たな産業の創造	予算科目	款	O2	総務費	
					項	O1	総務管理費		
					目	10	誘致推進費		
主管課	総合政策部 誘致推進課			主管課長	武井 厚		事業コード	O1 — 51	
事業目的	対象（誰を・何を）				意図（どういう状態にしたいのか）				
	新規立地企業及び市内既存事業				市内への本社移転又は事業所の新設が行われるようになる。 積極的に市民を雇用するようになる。 環境に配慮型の事業運営を推進するようになる。				
事業内容	交付要件を満たした新たに本市内に立地する企業並びに事業拡張する既存市内企業に対して、奨励金（企業立地促進奨励金、雇用奨励金、環境配慮型施設設置助成金）を交付する。 立地を予定している企業等からの各種相談に対して、必要に応じて市内の調整及び支援を行う。								
事業の実績	企業立地優遇制度に基づく奨励金交付件数			2	件	決算額	事業費計		16,056,900 円
	上記制度を利用した企業等における市民雇用人数			19	人		財源内訳	国庫支出金	0 円
								県支出金	0 円
								分担金・負担金	0 円
								使用料・手数料	0 円
								基金繰入金	0 円
								地方債	0 円
								その他特定財源	0 円
					一般財源	16,056,900 円			
指標で表すことができない定性的な成果	立地後の市税（固定資産税、都市計画税）収入の確保			繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定	無



奨励金の支給が開始されたディップノール株式会社

事業名	流山おおたかの森駅前市有地活用事業			会計	O1 一般会計		予算区分	政策	
政 策	O1	1 節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予算科目	款	O2 総務費			
施 策	1-2	地味特性に合った良好な市街地整備		目	項	O1 総務管理費			
				目	目	10 誘致推進費			
主管課	総合政策部 誘致推進課			主管課長	武井 厚		事業コード	O1 — 52	
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	流山おおたかの森駅周辺			市の新拠点として発展する。					
事業内容	本市の新拠点を形成するために、民間活力を生かした事業手法により、流山おおたかの森駅前市有地に行政・文化・商業・業務など複合的な機能を持つ施設を整備する。導入機能、事業スキーム及び事業条件等の検証を行ったうえで事業者の公募、選定を行い、整備に向けて関係機関等との調整を行う。								
事業の実績	建設工事着手面積率		0 %	決算額	事業費計		3,611,520 円		
	流山おおたかの森駅周辺人口		20,477 人		財源内訳	国庫支出金	0 円		
	TX流山おおたかの森駅1日当り乗車人数		32,100 人			県支出金	0 円		
	東武流山おおたかの森駅1日当り乗車人数		52,406 人			分担金・負担金	0 円		
						使用料・手数料	0 円		
						基金繰入金	0 円		
						地方債	0 円		
						その他特定財源	0 円		
				一般財源		3,611,520 円			
指標で表すことができない定性的な成果	流山おおたかの森駅周辺における賑わいの創出と交流人口の増加を図る。			繰越・継続費の状況	繰越の有無		有	継続費の設定	有
	平成26年度からの2か年継続事業12,000,000円								
	平成26年度決算額3,589,920円 翌年度への繰越繰越額10,080円								

事業名			交通安全施設整備事業		会計	O1 一般会計		予算区分	政策
政 策	O2	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算科目	款	O2 総務費				
				項	O1 総務管理費				
施 策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保			目	13 交通安全対策費			
主管課			土木部 道路管理課		主管課長		鈴木 和男	事業コード	O6 — 51
事業目的	対象（誰を・何を）				意図（どういう状態にしたいのか）				
	市道における交通安全施設の新設及び補修を要する箇所				交通安全施設等の整備により、交差点等の安全を確保し、また、道路照明灯等により夜間の安全確保を図り危険を回避する。				
事業内容	市道の危険箇所における道路照明、道路反射鏡、区画線、道路標識等の交通安全施設等（交通安全施設等整備事業に関する緊急措置法第2条第3項第2号ロに掲げる二種事業が中心）の設置及び補修工事の実施による安全な交通環境の維持、改善により交通事故等の防止を図る。								
事業の実績	道路照明設置		1	基	決算額	事業費計		31,881,600 円	
	道路反射鏡設置（業者）		10	基		財源内訳	国庫支出金	0 円	
	道路反射鏡設置（機動班）		11	基			県支出金	0 円	
							分担金・負担金	0 円	
							使用料・手数料	0 円	
							基金繰入金	0 円	
							地方債	0 円	
							その他特定財源	0 円	
					一般財源	31,881,600 円			
指標で表すことができない定性的な成果			繰越・継続費の状況		繰越の有無		無	継続費の設定	無



交差点に設置した道路照明灯

事業名			自治会活動助成事業		会計		01 一般会計		予算区分		経常			
政 策		02 2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）		予算科目		款 02 総務費		項 01 総務管理費						
施 策		2-6 市民の主体的連帯活動に支えられたコミュニティの推進				目 15 コミュニティ振興費								
主管課				市民生活部 コミュニティ課		主管課長		須郷 和彦		事業コード		03 — 02		
事業目的	対象（誰を・何を）					意図（どういう状態にしたいのか）								
	自治会					自治会活動に係る経費の一部を支援することにより、自治会活動の活性化を図る。								
事業内容		自治会活動の円滑な運営を支援するため、自治会活動用品の貸与、自治会館維持管理等の補助金や自治会等交付金を交付する。												
事業の実績	自治会加入率			70.3 %		決算額	事業費計		25,012,678 円					
	全世帯数			70,045 世帯			財源内訳	国庫支出金		0 円				
								県支出金		0 円				
	自治会数			177 団体				分担金・負担金		0 円				
								使用料・手数料		1,200 円				
								基金繰入金		0 円				
								地方債		0 円				
								その他特定財源		1,202,878 円				
								一般財源		23,808,600 円				
指標で表すことができない定性的な成果		地或活動の充実が図られた。			繰越・継続費の状況			繰越の有無		無		継続費の設定		無



補助金を利用して改修工事を行った自治会館

事業名	NPO活動推進事業			会計	O1	一般会計	予算区分	政策
政 策	O6	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			予 算	款	O2	総務費
施 策	6-1	市民参加の地域社会づくり			科 目	項	O1	総務管理費
					目	15	コミュニティ振興費	
主管課	市民生活部 コミュニティ課			主管課長	須郷 和彦		事業コード	O6 — 51
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	市民・NPO法人・市民活動団体			NPO活動に対する理解が深められ、市内で積極的な市民活動ができるようにする。				
事業内容	「協働のまちづくり」実現に向けて市民活動の拠点である市民活動センターを運営する。また、流山市市民活動団体公益事業補助金制度により、NPOなどの市民活動団体が自発的に行う事業を市民公益事業として認定し支援する。							
事業の実績	市民活動推進センター施設利用者数		16,542	人	決算額	事業費計		16,991,887 円
	市民活動推進センター登録団体数		177	団体		財源内訳	国庫支出金	0 円
	市民活動団体公益事業補助金交付事業数		9	事業		県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	0 円	
						その他特定財源	672,330 円	
					一般財源	16,319,557 円		
指標で表すことができない定性的な成果	多世代の市民による地域を超えた交流が促進されている。			繰越・継続費の状況	繰越の有無			無
					継続費の設定		無	



補助金対象事業の公開報告会

事業名			防犯灯設置費補助事業		会計	01 一般会計		予算区分	政策
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算科目	款	02	総務費			
				項	01	総務管理費			
施 策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保			目	16	防犯対策費		
主管課	市民生活部 コミュニティ課			主管課長	須郷 和彦		事業コード	01	— 54
事業目的	対象（誰を・何を）				意図（どういう状態にしたいのか）				
	市民				夜間における通行者の安全を確保するとともに路上等での犯罪を減らし、安心して暮らせるまちづくりを推進する。				
事業内容	自治会が行う防犯灯の新設及び器具交換に要する経費の一部を補助する。 自治会が設置した防犯灯の部品（ランプ（点灯管含む）・自動点滅器）の交換に要する経費の一部を補助する。								
事業の実績	防犯灯の新設交換灯数		1,140	灯	決算額	事業費計		23,325,979 円	
	新設交換自治会数		99	件		財源内訳	国庫支出金	0 円	
	部品交換数		2,526	灯			県支出金	0 円	
	部品交換自治会数		110	件			分担金・負担金	0 円	
							使用料・手数料	0 円	
							基金繰入金	0 円	
							地方債	0 円	
					その他特定財源	0 円			
					一般財源	23,325,979 円			
指標で表すことができない定性的な成果	防犯灯のLED化は、従前に比べ照度が改善され市民の安心感を向上する効果があり、また、消費電力が少ないことから電気料の負担軽減を図ることができる。			繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定	無



夜間における通行者の安全を確保する防犯灯

事業名			安心安全支援事業		会計	01 一般会計		予算区分	政策
政 策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）		予算科目	款	02 総務費		
					項	01 総務管理費			
施 策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保			目	目	16 防犯対策費		
主管課	市民生活部 コミュニティ課			主管課長	須郷 和彦		事業コード	01 ― 56	
事業目的	対象（誰を・何を）				意図（どういう状態にしたいのか）				
	市民				地域における自主防犯意識を醸成し、自主防犯活動を活性化することにより、安心安全に暮らせるまちづくりをする。				
事業内容	自主防犯パトロール隊への支援 流山市民安全パトロール隊への支援 安心メールの配信 防犯カメラの設置（23年度15台、24年度15台、26年度15台、計45台）								
事業の実績	刑法犯罪認知件数		1,447	件	決算額	事業費計		9,017,605 円	
	市民安全パトロール隊員数		56	人		財源内訳	国庫支出金	0 円	
							県支出金	3,075,000 円	
							分担金・負担金	0 円	
	自主防犯パトロール隊組織数		62	団体			使用料・手数料	0 円	
							基金繰入金	0 円	
							地方債	0 円	
	安心メール登録件数		66,224	件			その他特定財源	0 円	
					一般財源	5,942,605 円			
指標で表すことができない定性的な成果	地域での防犯に資するほか、活動が地域コミュニティへの参加の機会となっている。			繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定	無



年末年始特別警戒出動式に参加する市民安全パトロール隊

事業名	T X沿線整備地区の字の区域の名称変更事業			会計	01	一般会計	予算区分	政策	
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			予算科目	02	総務費		
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営			項目	01	総務管理費		
				目	17	行政区域制度審議会費			
主管課	総務部 総務課			主管課長	逸見 克弘		事業コード	01 - 52	
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	T X沿線5地区の土地区画整理事業に係る字の区域及び名称			土地区画整理事業の換地処分に併せ、字の区域及び名称の変更を行うことで、行政区域の整備を図る。					
事業内容	西平井・鰐ヶ崎地区及び鰐ヶ崎・思井地区の字の区域及び名称の変更に当たり、その変更図書作成業務委託として平成26年度及び平成27年度の2か年継続事業で実施する。								
事業の実績				決算額	事業費計		605,000 円		
					国庫支出金	0 円			
					県支出金	0 円			
					分担金・負担金	0 円			
					使用料・手数料	0 円			
					基金繰入金	0 円			
					地方債	0 円			
					その他特定財源	0 円			
				一般財源	605,000 円				
指標で表すことができない定性的な成果				繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定	有
					平成26年度からの2か年継続事業2,916,000円 平成26年度決算額605,000円				